

# 安全データシート【SDS】

P1/6

## 1. 化学物質等および会社情報

【製品名】 コピカ (製造分類296-MK)

(推奨用途) トナー・UV樹脂熱反応転写箔、紙製品類

(使用上の制限) プラスチックフィルムまたはシート不可

(整理番号) 2019-0401-HF01

【供給者】 株式会社 コーテック

東京都品川区北品川4-2-1御殿山アネックス2号館1階

TEL : 03-6277-3533 (問い合わせ・緊急連絡先)

FAX : 03-6277-3651

## 2. 危険有害性の要約

ラベル表示 : **危険** 急性毒性 (区分4) 皮膚刺激性 (区分2)



眼刺激性 (区分2A) 皮膚感作性

特定標的臓器毒性 (区分3)

オゾン層への有害性

### 危険有害性情報

- ・着火源があれば燃える
- ・細粉の存在する場合は粉塵爆発の可能性がある
- ・静電気による粉塵爆発の可能性がある
- ・樹脂が分解し刺激臭の煙や蒸気が発生したとき眼に刺激がある
- ・飲み込むと有毒

### 取扱注意

- ・熱、花火、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること
- ・フィルムに静電気が発生することがあるため、必要な場所に静電気除去装置を適時配置し、人体を保護する必要がある
- ・荷崩れに注意し、直射日光／水漏れ／急激な温度変化等を避け保管場所で火気を使用しないこと
- ・ロール状態時は重量物のため落下に注意すること

### 3. 組成、成分情報

(組成) 単一：ポリエチレンテレフタレート (CAS No.25088-59-9)

単一：アルミニウム [99.99%]

混合物：合成樹脂 (登録済み)

積層：アクリル・ポリプロピレン混合樹脂 (登録済み)

(成分) PET樹脂 (フィルム)：80% [染料分1-2%顔料分3%]

### 4. 応急措置

眼に入った場合：眼球を痛める危険性があるので直ちに流水で十分洗い異物が眼に残るようであれば医師に診断を受ける。

皮膚に付着した場合：粉末の場合は流水で洗い流す。溶融物が付着し場合は大量な流水で十分に冷却し医師の手当を受ける。

吸入した場合：高温の溶融樹脂から発生するガスを多量に吸入した時は直ちに新鮮な空気のある場所へ移動しうがいする。異常を感じるようであれば医師に診断を受ける。

飲み込んだ場合：直ちに吐かせる。大量に飲み込んだ場合また異常を感じるようであれば医師に診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

消化方法：一般的な消化方法を用いて差し支えない。但し火災による一酸化炭素、スチレン、ベンゼン等の有害ガスの発生が予測されるので呼吸用保護具を装着して作業する。

消化剤：水、泡消化剤、粉末消化剤を用いることができるが水は冷却効果が大きいので水を使用することが望ましい。

### 6. 漏洩時の措置

拭き取り、回収する。フィルム屑、粉末は床面に落ちると滑る危険性があるのでこまめに処理する。排水系などの水面へ漏洩した場合は鳥類、魚類への影響があるので全て回収すること。

粉末の場合：粉塵爆発の可能性があるため静電気除去装置などを配置する必要がある。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

P3/6

取扱い：ロール状物は重量物のため落下に注意し、手足の保護腰痛防止のため適切な治具また運搬用機械を用いる必要がある。本製品は、可燃性があるので付近で火気を使用してはならない。またほどいたり巻いたりする場合はフィルムに静電気が発生することがあるため必要な場所に静電気除去装置を適時配置し静電気を除去し人体を保護する必要がある。

保管：荷崩れに注意する。直射日光、水濡れ、急激な温度変化を避け保管場所では火気を使用しない。

## 8. 暴露防止及び保護処置

管理温度：設定されていない(厚生労働省告示第26号)

許容温度：日本産業衛生学会とACGIHともに粉塵に関する許容温度を定めていないが以下の値が妥当と考える。

時間加重平均値：情報なし

(日本産業衛生学会勧告値3値粉塵)

吸入性粉塵：2mg/m<sup>3</sup>

総粉塵：8mg/m<sup>3</sup>

(ACGIH勧告値他に分類されていない粒子)

R. particulate：3mg/m<sup>3</sup>

L. particulate：10mg/m<sup>3</sup>

設備対策：スクラップの粉砕時等、粉塵が発生する場所や再生押し出し等でガスが発生する場所は適切に局所排気を実施する。

保護具：粉塵やガスが発生する作業の場合、防塵マスク、保護メガネを着用する。また熔融樹脂を扱う時は防護手袋をする。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観：ロール状(表面は金色または銀及び色、裏面は灰色)

臭気：ほぼ無臭(やや顔料臭あり)

pH：情報なし

融点：PET255°C (混合物は約90°Cから軟化収縮し始める)

P4/6

溶解度：水に不溶 (混合物は酢酸エチル、MEKにやや溶ける)

比重：1.4 (PET)

蒸気圧：固体のため安定

## 10. 安全性及び反応性

反応性：本製品は通常の使用、保管及び輸送条件では安定かつ非反応性である

安定性：通常取り扱い条件においては安定である

危険有害反応可能性：危険な重合は起こらない

避けるべき条件：日光、高温、多湿は避ける

混蝕危険物質：溶剤に可溶性材料

危険有害な分解生成物：加熱または、燃焼により分解生成物を発生する可能性がある

## 11. 有害性情報

本製品のデータはないが、参考に構成成分のデータを示す。

刺激性ポリエステル：樹脂が分解し、刺激臭の煙や蒸気が発生したとき、眼に刺激がある

急性毒性ポリエステル：該当なし

亜急性毒性：経口ラット飼料中に4%配合し、55週間摂食させたが影響なし

慢性毒性：経口ラット飼料中に4%配合し、2年間摂食させたが影響なし

がん原性：「ヒトに対する発ガン性について分類できない」と分類されている

変異原性：該当なし (微生物・染色体異常)

生殖毒性：該当なし

催奇形性：該当なし

その他：該当なし (水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)

## 12. 環境影響情報

P5/6

分解性：常温時では安定である

生物蓄積性：情報なし

生態毒性：有害性は極めて低いが、海洋生物または鳥類が摂取するのを防止するために、海洋水域では投棄してはならない。

オゾン層への有害性：情報なし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知のうえ処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

国内規制(適用法令)

陸上規制：規制なし(非危険物)

海上規制：規制なし(非危険物)

航空規制：規制なし(非危険物)

国連番号：国連の定義上、危険物に該当しない

国連分類：国連の定義上、危険物に該当しない

品名：熱転写用アルミ蒸着箔

海洋汚染物質：国連の定義上、危険物に該当しない

特別の安全対策：輸送に際しては直射日光を避け、破損、腐食漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行い重量物を上積みしない。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法：廃棄物の処理及び清掃に関する法規(産業廃棄物・廃プラスチック類)

毒物および劇物取締法：該当なし

消防法：指定可燃物(合成樹脂類・数量3,000kg以上)

化学物質管理促進法(PRTR法)：該当なし

トナーまたはUV樹脂に対して熱反応し転写しますが、UV樹脂全てに対応していません。また温度に十分注意のうえご使用下さい。  
参考文献：Patty's Industrial Hygiene and Toxicology 3rd  
石化協セーフティデータシート (No. 12)、プラスチックの  
燃焼性工業調査会・食品用プラスチック衛生学厚生省環境衛生  
局食品化学課編

## 17. 備考

このSDSは、PETフィルム・合成樹脂のSDSを元に工業用途  
について一般的な取扱いを前提に作成しています。

化管法に基づくSDS制度対象事業者判定フローより、提供義務及び、ラベル表示の努力義務はありません。

※「安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますので、使用原料の情報変更により本データシートの情報が変更される可能性があります。

※本データシートは、その製品を代表する値であり安全や品質の保証、規格ではありません。本製品を取り扱う場合は、記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じて下さい。

※本データシートは、日本国内法を基に作成しています。本製品及び、本製品を含む化学物質を輸出する際には、外為法や輸出先国の法律に従った対応を必ず行って下さい。

尚、ご不明な場合は弊社営業部まで、お問い合わせ下さい。